



2016年8月9日(火曜日)

【スポーツ】

柔道は7日、男女2階級が行われ、男子66kg級の海老沼匡(パーク24)、女子52kg級の中村美里(三井住友海上)はともに銅メダルでした。海老沼は2012年ロンドン五輪、中村は08年北京五輪に続く銅。日本勢のメダルは二日間で男女合わせて銅四つで、金はまだありません。

海老沼は準決勝で世界王者の安ハウル(韓国)に延長戦で有効を奪われて敗れました。3位決定戦ではアントワヌ・ブシヤール(カナダ)に一本勝ち。ファビオ・バシレ(イタリア)が優勝しました。

中村は準決勝でマイリンダ・ケルメンディ(コソボ)に指導の差で敗れ、3位決定戦ではエリカ・ミランダ(ブラジル)から延長戦で有効を奪って勝ちました。優勝はケルメンディ。

(時事)

中村・海老沼 諦めない



柔道女子52kg級3位決定戦、攻める中村美里(上、時事)

中村美里 金メダルが欲しかったので、悔しい気持ち。(3位決定戦は)苦しい試合だったが、最後まで諦めずたたかえた。ロンドンでは1試合しか出られなかったが、今回は少しでも多く戦う姿を(両親に)見せられたのでよかった。(時事)

海老沼匡 準決勝で気持ちの部分で負けてしまったので、そこで踏ん張れなかったのが敗因。(3位決定戦は)メダルを取るのと取らないのでは違うので、ぶざまな試合だが、メダルだけは取って帰ろうという思いだった。(時事)

スタミナを 筋力を



正木照夫の

鉄人の目

海老沼選手は11kgという減量がひびき、スタミナ負けしてしまったように思えます。大幅な減量で体に負担をかけるために、普段から体重を調整することが大事です。もしくは無理のない上の階級を検討することもありでしょう。

彼は内股が得意な選手ですが、今回はそれがあまり見られなかった。準決勝の安選手にも、内股は効果的だったはず。疲れのせいか、緊張のせいかわかりませんが、もっと内股を使っていたら結果は違ったと思います。金メダルをとれる選手だと思うので、今後も切磋琢磨(せっさたくま)してほしいです。

中村選手はやや体幹が弱く筋力アップの課題はあるものの、足技が天下一品で、他の選手には真似できないものを持っています。

準決勝のケルメンディ選手は隙が無く、中村選手は果敢に攻めましたが、技をかけることができませんでした。このような体格のよい選手に勝つためにも、筋力をつけることが重要となるでしょう。しかし、前半に中村選手に攻めていないという指導が入ったのに対し、後半のケルメンディ選手には指導が入らなかったのは、少し疑問に感じました。

(拓殖大学柔道部師範・八段)